

中仕掛けの作り方

〇〇〇高等学校 弓道部 資料



中仕掛け用の麻，ボンド，道宝，的中定規を用意します。



的中定規をあて中仕掛けの位置を確認します。



確認したら、サインペンなどで、軽く印をつけます。

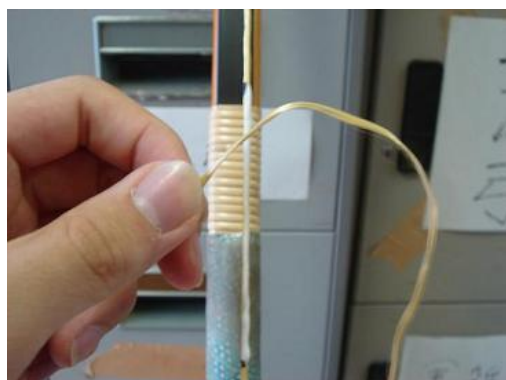
上側は筈の位置の上 1 C m、下側は 8 C m 位に印をつけます。



印をつけた上側の所にボンドを塗ります。

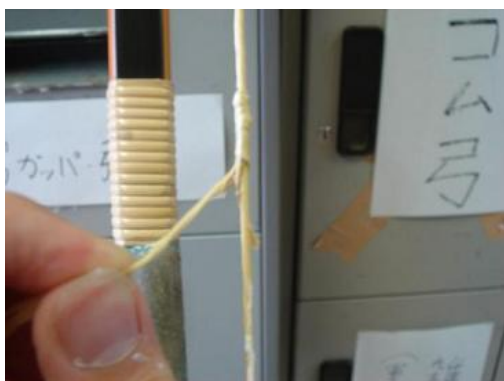
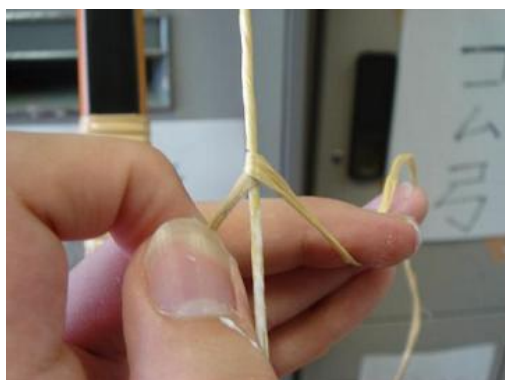


印をつけた上下間の間にボンドを塗ります。

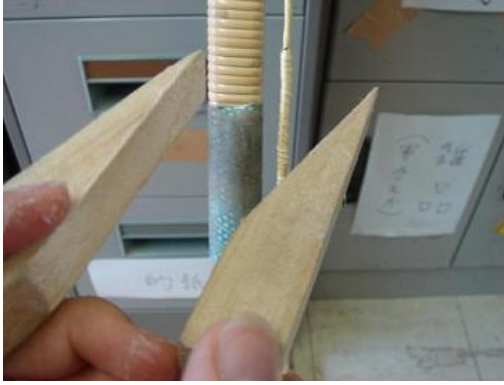


麻を持ち、始めの部分は少し一巻目に巻き込むように巻きます。

両端をしっかり引っ張って緩まないように巻きます。



写真のように反時計回りに巻いていきます。



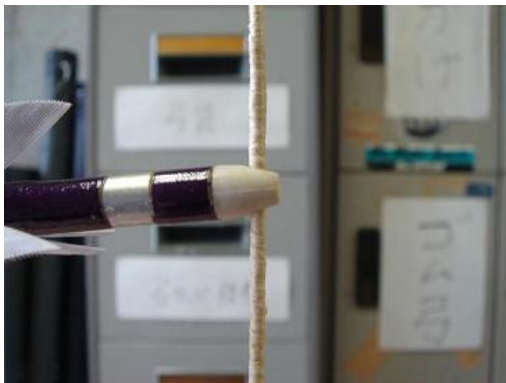
巻き終わったら、道宝を使い上から下へしごいてやります。

弦の周りの厚みが均一になるようにしごきます。



なるべく滑らかで、凸凹にならないように仕上げます。

完成です。



自分の矢を番えて太さがちょうどいいか確認します。

太すぎると、筈をつがえにくい事や、矢を放った時に筈が抜けてしまう事になります。

細すぎると、筈こぼれしやすくなります。

太さの調整は、細い場合は、麻をもう一度量を調節した上で太くします。

太い場合は、潰すか削るなどして細く調節します。

また、弾の弦枕にかかる部分の太さを変える事もよいですが、太くしすぎると、暴発の原因になります。細くしすぎると、取懸けが深くなって離れで引っかかる原因になります。